

2024～2025年度クラブ目標

創立1986年

『思いやりがある 感謝のロータリー』



2024-25年度国際ロータリーテーマ

会長 阿部 克弘
幹事 十文字 光伸



第1824回例会

令和6年10月3日 (12:30～13:30)

○ソング

- 君が代、奉仕の理想

○ビジター

- BLOOMING CAFE 白岩麗奈様
- 矢吹ロータリークラブ 遠藤武士様

○スマイルBOX

- 矢吹RC遠藤武士様 (矢吹RC40周年記念式典に御出席頂きありがとうございました。今後ともお世話になります。)
- 阿部克弘会長 (本日は矢吹RCの遠藤様、ブルーミングカフェオーナーの白岩様、白河西RCにおいで下さいまして有難うございました。そして卓話もしていただき有難うございます。)
- 十文字光伸幹事 (本日は白岩麗奈様、卓話ありがとうございました。又、矢吹ロータリークラブ遠藤武士様、メイクアップありがとうございました。)
- 藤田龍文会長エレクト (白岩様、矢吹RCの遠藤様、ようこそ！)
- 金田昇会員 (白岩麗奈さん、卓話ありがとうございました。ロータリーへの入会もお待ちしております。)
- 村上堅二会員 (やっと家孫が生まれました。今後とも宜しくお願い致します。)
- 大住由香里会員 (白岩様、本日は素敵な卓話ありがとうございました。そして今後ともよろしくお願い致します。)
- 永野文雄会員 (矢吹クラブ遠藤さんようこそ。青木会員「シン鹿島オープン」おめでとう。ゲストの「白岩麗奈」さま、卓話ありがとうございました。)
- 高島裕会員 (先日は米沢中央さんとの交流会ご利用頂きありがとうございました。二年半ぶりのゴルフでしたが前半65ですが後半の47を見る限り上手じゃないでしょうか?)
- 富永章会員 (結婚記念日のお祝いありがとう御座います。何回目かは忘れました。)
- 池田浩章会員 (矢吹RC遠藤様ようこそ。BLOOMING CAFE' 白岩麗奈様卓話ありがとうございました。結婚記念のお祝いのお花ありがとうございました。)
- 成井正之会員 (白岩麗奈様卓話ありがとうございました。遠藤武士様ようこそ。今週の大谷スマイルは9/20 49.50.51号で、9/22 52号、9/23 53号、9/28 54号で、今年7月以降で27本でした。気分爽快なホームラン、「ありがとう」でした。)
- 沼田重一会員 (BLOOMING CAFE' の白岩麗奈さん、卓話ありがとうございました。親睦活動委員会から先月のホームミーティングのご協力ありがとうございました。)
- 青木大会員 (今月25日に26回目の結婚記念日を迎えます。お花楽しみにしています。シン鹿島、10月1日からオープンしました。例会お待ちしております。)
- 寺島由和会員 (白河西ロータリークラブでの2年間、一生の思い出になりました。皆様本当にありがとうございました。)

【今週の仮メイクアップ会員】

- 9月28日 国際RC第2530地区地区行事
藤田龍文、金田昇、諸橋利典、山口治、山縣栄寿

▶第1824回例会出席状況 (R6年10月3日)

Ⓐ 出席免除を受けていない正会員数	52名
Ⓑ 出席免除の適用正会員数	19名
Ⓓ 全正会員数	71名
Ⓒ Ⓐの出席者数	27名
Ⓔ Ⓐのメイクアップ者数	0名
Ⓔ Ⓑの出席者数	13名
Ⓖ = Ⓒ + Ⓔ + Ⓔ (メイクアップ補填後の出席会員数)	40名
Ⓕ = Ⓓ - (Ⓑ - Ⓔ)	65
Ⓖ = Ⓖ / Ⓕ × 100 (例会出席率)	61.5%

▶例会日: 第1・第3木曜日 (12:30) その他の木曜日 (18:30～19:30)

▶例会場: 白河市新白河駅前 東京第一ホテル新白河

▶事務局: 〒961-0957 福島県白河市道場小路96-5 (白河商工会議所内) ☎23-3101 FAX22-1300

本日のプログラム

■会長の時間

阿部克弘会長



皆さんこんにちは。本日もお忙しい中、例会に参加をいただきまして誠に有難うございます。

それでは本日のお客様をご紹介しますいただきます。

まず初めに矢吹ロータリークラブ遠藤武士様。続きまして「BLOOMING CAFE」オーナー白岩麗奈様。白岩様には後ほど卓話を頂戴しますのでどうかよろしくお願ひしたいと思います。

10月1日火曜日は米沢中央ロータリークラブさんとの観光並びにゴルフに参加をいただきました会員の皆様には大変有難く思っております。またゴルフ愛好会の堀田会長はじめ、そして観光を企画していただきました村上シスター委員長には大変お世話になりました。ゴルフに参加していただきました皆様にも改めまして重ね重ねお礼を申し上げます。私はちょうどその時に用事があり参加できませんでしたが、懇親会には参加させていただきました。多くの米沢中央ロータリークラブの皆様がおいでいただき盛大な懇親会となったことを皆様にご報告申し上げます。そして関係者には再度御礼を申し上げます。

本日は事務局の吉田さんがお休みですが、お母様が亡くなられたので昨日私と十文字幹事でご焼香に行っていました。今日は吉田さんの代わりに久々に白河商工会議所の大竹茜さんが代わりをさせていただいております。さて今月は新しい総理大臣も決まり、なった途端に衆議院議員の総選挙になる運びになりました。10月15日公示、10月27日投票という事で、議員の皆様には大変急な話でさぞかし大変だろうとは思いますが、新しい議員さんが決まりますので皆様には清き一票をお願いしたいと思います。今回は公示という事ですがその他に告示という事がございます。衆議院議員の総選挙と参議院議員の通常選挙は公示、つまり天皇陛下の国事行為になるので、公示になります。それ以外の地方選挙は告示となりますが、これは各地の選挙管理委員会でするのでその違いになります。公示と告示ちょっと似たような感じですが違いがあります。皆さんは既にご承知とは思いますが、ちょっと頭の隅にでも入れて貰えれば有難いと思いました。

今日もこの後にいろいろありますのでこれ位に置きますが、最後に11月3日は地区の会員大会が開催されます。白河西ロータリークラブから2年後には金田会員がガバナーとして活動する事になりますので全員登録にしました。今年度・来年度・再来年度に渡って全員登録にして他クラブの協力を仰ぎたいのですが、会員大会に実際に参加される方が今のところまだ10名前後しかおりません。金田会員を盛り上げるためにも、そして金田さんがガバナーになった時の会員大会に多く会員さんが参加していただくにも、まずは白河西ロータリークラブの会員が、総意・誠意を持って参加していただくことがとても重要になるかと思っております。ぜひとも30名近くいれば金田さんも顔がほころぶ

と思います。まだ時間があるので参加の程を強力にお願いしたいと思います。それから今月の第3木曜日はガバナーの公式訪問がございまして、各委員会の委員長さん並びに関係者の方は参加をお願いして会長の時間を終わりたいと思います。本日も宜しくお願ひ致します。

■幹事報告

十文字光伸幹事

○国際ロータリー第2530地区：行動計画推進説明会関係の資料送付について

○米山記念奨学会委員会：米山奨学生の派遣

■米山功労者の表彰

米山功労者

第2回マルチプル

成井正之殿



■ロータリーシップ研究会パート1

金田昇殿



■各委員会報告

○雑誌広報委員会

緑川直人副委員長



雑誌広報委員会から10月号『ロータリーの友』の読みどころの案内をさせていただきます。まず、横読みの7ページ開いていただきまして、そちらに「歴史を紡ぎ、未来へ 名士の足跡と、ロータリークラブ」ということで記事載ってるんですけど、そこに深谷ノースロータリークラブも載っておりまして、その記事の中11ページの欄にはこの白河西ロータリーとの姉妹グループ締結に至る内容と、あとはこちらずっと遡って南湖神社さんの名前も出ておりますので、皆さん読んでみてください。次に縦読み、ページ数が4ページになります。こちらのほうが「風災の地で生きる希望ある未来に」ということでこれ記事ありますが、こちら2024年2月17日、国際ロータリー第2790地区の第47回RYLA21世紀リーダーシップセミナーの内容になっております。昨今、この台風とか異常気象が多い中でこういった取り組みをされているということが、良さも悪さもという内容で書いてありますので、ただやって満足ではなく、その後やったことに関して振り返り反省してまた次に繋げていくという内容になっておりますのでお読みください。

○ゴルフ愛好会

堀田一彦委員長



皆さん、こんにちは。ゴルフ愛好会からです。先日、10月1日に行われました米沢中央ロータリークラブさんとの交流ゴルフコンペにご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。当日は天気も良くて、楽しいラウンドが出来たと思います。成績のほうですが、個人戦は十文字幹事が見事優勝ということで、大変おめでとうございます。1位から5位までの個人賞はすべて西クラブが持っていったんですが、団体戦のほうは、代表者決定のくじ引きでちょっと失敗しまして、残念ながら米沢さんに負けてしまいました。5連覇ならずとということだったんですが、来年はまた頑張っていきたいと思えます。また、先程もありましたが10月31日、J・C・Y・E・G交流コンペがございますので、そのコンペのほうにも是非参加のほうよろしくお願ひします。

○地区セミナー報告

藤田龍文会員



皆さん、こんにちは。矢吹ロータリークラブの遠藤様、そして白岩様、ようこそおいでいただきありがとうございます。先日、9月28日に、「ユラックス熱海」にて地区のセミナーがございましたので、そちらのご報告をさせていただきたいと思っております。参加者は、金田ガバナーノミニ、そして地区の諸橋委員長、山口パスト会長、山縣先生、私藤田と5名で参加してまいりました。財団の委員会ということですので、来年の補助金ということになりますので、まだ組閣とか総会も通っておりませんが、時期的にそろそろ補助の申請をするということですので、本年度阿部会長では動物を使ってやるということでのそこも財団の補助が入っているということで、セミナー中こういった良い例があるということで、当クラブの阿部会長の動物を通したコミュニケーションの財団の補助の需給というのを紹介されてましたので、来年度もそういった感じで見習いまして既存の事業をするか新たな事業で、せつかくある財団の財源はなるべくいただいて事業に反映していきたいと思っております。その他、もう一つ国際奉仕ということで、来年からロータリーは前々からポリオ撲滅ということでやってたんですが、来年度よりまた新たなポリオの対する基金が創設されたということですので、地区の委員長が諸橋さんですのでその辺も含めて、新たなポリオ撲滅の為の基金をまた諸橋委員長のほうから改めてご連絡とかお知らせがあると思っておりますので、そちらも会全体として協力していきたいと思っております。報告のほうは以上になります。

■本日のお客様

○矢吹ロータリークラブ

遠藤武士様



皆さん、しばらくです。今日は日程の詰まっているところ、私も発言させていただいて恐縮です。今、司会からありましたように6月の初旬に私どもの40周年記念式典に、こちらから多数ご出席いた

きましてありがとうございました。私も40年前、2年間幹事をさせてもらって、それ以来のお付き合いなものですから終わった後、私としてはこちらにチャーターナイト10年20年30年の節目に私独自で挨拶に伺って、その延長線上で今日お邪魔しました。また、よろしくお願ひします。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○プログラム委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんにちは。プログラム委員長の大住由香里です。今月、卓話をお願いしました白岩麗奈さんなんですけれども、わたくしの会社であります「ひいらぎ」のテナントのビルのオーナーさんでもありますし、「BLOOMING CAFE」のオーナーさんでもあります。また、その2階にございます「しらかわ腎泌尿器内科クリニック」の透析クリニック、旦那様がそちらの先生でありまして、そこの運営もやられているという、何年か私隣でずっと見ていてすごくキラキラしている女性でパワフルで、子育てもしっかりしていて、そして自分の好きなことに本当に追及してやっている方だなと思っていて、憧れの女性のお一人であります。多様な働き方、先週もお伝えしましたけれども、多様な働き方をずっと考えてくださっていて、子育てをしながらどうやったら働けるのかなんていうこともしっかりと考えてくれている女性です。私が紹介するよりも皆さんのほうがよくご存じだと思いますし、これから麗奈さんからありますと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。楽しみにしております。

○「BLOOMING CAFE」

オーナー 白岩麗奈様



皆さん、こんにちは。白岩麗奈と申します。今、大住さんからとても素敵なお話をいただきまして、更に緊張が深まっておりまして上手くお話出来るかなんですけども、少しお付き合いいただけたらと思います。本日はよろしくお願ひいたします。まず、自己紹介から始めたいと思います。私は白河市の出身です。おじいちゃんが小林六郎という「小林運送会社」でライオンズクラブのほうを長年やっておりました。父も小林正知で「こぼうん」のほうの社長をしておりまして、金田さんとは本当に学生の頃からの友人で、私も赤ちゃんの時から金田さんにはとてもお世話になっていたような関係でございます。それがすごく今不思議なことに白河に戻ってきたのが8年ぐらい前になるんですけども、今「BLOOMING CAFE」というカフェのオーナーと、主人が「しらかわ腎泌尿器内科クリニック」「しらかわ透析・内科クリニック」二つ運営しておりまして、わたくしはこの経理と、去年から今大住さんの「ひいらぎ」と私のカフェが入っているパークシティビルの不動産の管理のほうをすることになって、3つの仕事を掛け持ちしながら2人の子供も育てております。白河市生まれだったんですけども、5年生の時に教育のために関東のほうに引っ越しまして、そこから中学受験をして一貫校に入って、高校2

2年生の時に北米に留学しました。合計で7年程北米におりまして、カナダで大学を卒業してから日本に帰国しました。いろいろありまして、主人と結婚をして山形のほうに住んでたこともあるんですけども、「佐藤循環器内科クリニック」を承継することになりまして、白河に戻って来たのが8年前になります。なので、本当に10年前には想像もしていなかったようなことが今起きております。クリニックのほうの人事関係もやっておりますので、いろいろ女性の面接等をしてるんですけども、今回お話の題名で「女性の短時間労働が地域と家庭を救う」なんて、ちょっと大それた題名を付けてしまったんですけども。やはり、今昨今のなかなか人が集まらない、定着しない、お給料も上げていかないというところで、皆さんどの企業も苦勞されてらっしゃるのかなと思うんですけども、私も仕事をしていく中でどうやって女性の力を上手く活用していくことが、これからの地域経済にすごく必要だと思ってまして、それにはやっぱり企業側のこの時間に働いてほしい人を探すというよりも、やっぱりその時間しか働けない方々を上手く組み合わせながら雇用していくことが大切だと思ってまして。その私の事例だったり、思う事をお話できればと思っております。まず、女性が笑顔になれる仕事の在り方というふうになりました。私は家庭の母親が笑顔でいることが、家庭円満の秘訣だと思っています。お母さんがやっぱりお家で笑顔でいるだけで、子供達も幸せですし、御主人もにこにこ笑っていて「おかえりなさい。」と言ってくれる奥様がお家にいることで、きっと子供も良く育ちますし、父親もストレスがなく仕事にもっと専念できますし、それは会社のパフォーマンスにも繋がっていきます。子供の成長を見てあげられることで成績も良くなりますし、そういう子供たちが地域に増えるようになることによって、良い地域になって行くと思うんです。逆にやっぱり母親がいつもストレスばかりで不満げな顔をしていて、経済的にも苦しんでいて、子供を家に置きっぱなしで勉強も宿題も見えてあげられない。疲れていてご飯を作る時間もない、そのような家庭ではやはりご主人も凄くストレスになりますし、会社でやっぱりパフォーマンスを発揮しきれない、もう負のループになってしまうので、女性が笑顔でいるような家庭を作る。そのためには、私は女性は専業主婦でいるよりもある程度働いたほうが良いと思っています。女性の仕事もフルタイムで働くほうが合う職種の方ももちろんいらっしゃいまして、うちでいうと看護師さんなんですけれども、地方で見るとそういった職業の方よりは、そういった専門の方よりはパートタイムで働くほうが合うような職種が地方には多いんじゃないかと思っています。私が上の娘が幼稚園に行った頃、私は家で經理の手伝いをするくらいで、毎日会社に何時間も行って事務の仕事してるわけではなかったんですけども、その時に出会ったママ友と仲良くなって、結婚する前どんな仕事していたのと聞くと、調理だったりサービス業にしても長年きちんとした会社で働いてらっしゃったりして、すごく良い経歴をお持ちなのに、やはり子供がいながら数時間だけ働けるという所が白河にはないから働いていない。そういった方が本当に多くいらっしゃって、私はすごくもったいないな

と思いました。でも、仕事を探そうと思っても、子供が病気の時にすぐ休めるか、行事の時に休みが取れるか、1日4~5時間だけ働きたい。そういった仕事はやはりなかなかなかったんです。それなら、私が作ろうかということでカフェを始めたというのがあります。私も經理の仕事は夜やってたんですけども、日中まだ動けるなど自分で思ってしまって、調理も好きだし母も調理にずっと携わっていたんですけども、フルでどこかに働きに行くほどではない。知り合いの方もそういったサービス業だったり調理に長く携わっていた人がいて、日中の子供が学校に行ってる間だけしか働けないんですけどいいですか。いや、その時間だけ一生懸命働けるお店を作ろうよということで、今、大体9時くらいに出勤して5時にみんな帰れるようにしています。もっと子供が小さいお子さんは9時から来て1時にあがるとか、そういった形でもよいような感じになっています。女性にとってのライフワークバランス、それが家庭の状況によって女性が働ける時間というのがどんどん変わってってしまうんですね。幼稚園のお子さんがいる方だと、大体9時にお子さんを幼稚園に送って行って、もう1時に帰ってきてしまうこともあるので、9時半から12時半まで働きたい。ちょっと小学校に入ると、8時半には出勤できます。でも、2時には帰りたいです。だんだん時間も長くはなっていくんですけども、行事が増えたり、やっぱり突然の病気になったりして急に朝電話がかかってきて休まなければいけない。そういう事も多くて、通常の企業さんですとやっぱり困ることにはなります。カフェのほうでも今そういう方がいて、今日も昨日の夜一人の方から息子が熱を出したので明日は休ませてくださいということで一人今日お休みで、私も抜けたので今日2人今減で営業してるんですけども。そんな時でもお互い様だよな、できることをやっという。今日だったら、例えばお皿洗いはもう溜めちゃっていいから、私戻ってきた後、みんな一斉にやるから出来ることだけでやっという。そういう形で、お互い様で回せる、何かあっても回していくことがもう大前提の職場なんです。でも、どうしてそこまで無理して仕事を女性がする必要があるのかというと、家にいるだけだと本当に楽かと思われるかもしれない、専業主婦は楽かと思われるかもしれないんですけども、私からすると家において何で掃除終わってなかったの、どうして子供点数こんなに悪いの、すべてが自分のせいになってしまって、逆にいうと子供の成績が上がったら自分の地位も上がるような感じもしたりして、自分というものがなくなってしまって、自分はもう誰誰ちゃんのお母さん。誰誰君のお母さんでしかなくて、自分自身が好きだった事とか、やりたかった事というのがもう全部置き去りにされたままに家庭と子供にすべてを尽くさなきゃいけないようなのが、私の意見ですけどもそれが専業主婦になってしまって、それが辛いと思う女性がすごく多いです。私の周りだとすごく多くて。それが仕事に行くことによって、仕事という口実を与えてあげることによって、そこまで完璧じゃなくてもちょっと許してねというような言い訳にもなったり、職場に行って同じような境遇の女性と悩みを共有することによって、あっ皆もそうなんだな、私だけじゃないんだなっ

○ゴルフ愛好会

堀田一彦委員長



皆さん、こんにちは。ゴルフ愛好会からです。先日、10月1日に行われました米沢中央ロータリークラブさんとの交流ゴルフコンペにご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。当日は天気も良くて、楽しいラウンドが出来たと思います。成績のほうですが、個人戦は十文字幹事が見事優勝ということで、大変おめでとうございます。1位から5位までの個人賞はすべて西クラブが持っていったんですが、団体戦のほうは、代表者決定のくじ引きでちょっと失敗しまして、残念ながら米沢さんに負けてしまいました。5連覇ならずとということだったんですが、来年はまた頑張っていきたいと思えます。また、先程もありましたが10月31日、J・C・Y・E・G交流コンペがございますので、そのコンペのほうにも是非参加のほうよろしくお願ひします。

○地区セミナー報告

藤田龍文会員



皆さん、こんにちは。矢吹ロータリークラブの遠藤様、そして白岩様、ようこそおいでいただきありがとうございます。先日、9月28日に、「ユラックス熱海」にて地区のセミナーがございましたので、そちらのご報告をさせていただきたいと思っております。参加者は、金田ガバナーノミニ、そして地区の諸橋委員長、山口パスト会長、山縣先生、私藤田と5名で参加してまいりました。財団の委員会ということですので、来年の補助金ということになりますので、まだ組閣とか総会も通っておりませんが、時期的にそろそろ補助の申請をするということですので、本年度阿部会長では動物を使ってやるということでの所も財団の補助が入っているということで、セミナー中こういった良い例があるということで、当クラブの阿部会長の動物を通したコミュニケーションの財団の補助の需給というのを紹介されてましたので、来年度もそういった感じで見習いまして既存の事業をするか新たな事業で、せつかくある財団の財源はなるべくいただいて事業に反映していきたいと思っております。その他、もう一つ国際奉仕ということで、来年からロータリーは前々からポリオの撲滅ということでやってたんですが、来年度よりまた新たなポリオの対する基金が創設されたということですので、地区の委員長が諸橋さんですのでその辺も含めて、新たなポリオ撲滅の為の基金をまた諸橋委員長のほうから改めてご連絡というかお知らせがあると思っておりますので、そちらも会全体として協力していきたいと思っております。報告のほうは以上になります。

■本日のお客様

○矢吹ロータリークラブ

遠藤武士様



皆さん、しばらくです。今日は日程の詰まっているところ、私も発言させていただいて恐縮です。今、司会からありましたように6月の初旬に私どもの40周年記念式典に、こちらから多数ご出席いた

きましてありがとうございました。私も40年前、2年間幹事をさせてもらって、それ以来のお付き合いなもんですから終わった後、私としてはこちらにチャーターナイト10年20年30年の節目に私独自で挨拶に伺って、その延長線上で今日お邪魔しました。また、よろしくお願ひします。

■本日のプログラム

ゲスト卓話

○プログラム委員会

大住由香里委員長



皆さん、こんにちは。プログラム委員長の大住由香里です。今月、卓話をお願いしました白岩麗奈さんなんですけれども、わたくしの会社であります「ひいらぎ」のテナントのビルのオーナーさんでもありますし、「BLOOMING CAFE」のオーナーさんでもあります。また、その2階にございます「しらかわ腎泌尿器内科クリニック」の透析クリニック、旦那様がそちらの先生でありまして、そこの運営もやられているという、何年か私隣でずっと見ていてすごくキラキラしている女性でパワフルで、子育てもしっかりしていて、そして自分の好きなことに本当に追及してやっている方だと思っていて、憧れの女性のお一人であります。多様な働き方、先週もお伝えしましたけれども、多様な働き方をずっと考えてくださっていて、子育てをしながらどうやったら働けるのかなんていうこともしっかりと考えてくれている女性です。私が紹介するよりも皆さんのほうがよくご存じだと思いますし、これから麗奈さんからありますと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。楽しみにしております。

○「BLOOMING CAFE」

オーナー 白岩麗奈様



皆さん、こんにちは。白岩麗奈と申します。今、大住さんからとても素敵なお話をいただきまして、更に緊張が深まっておりまして上手くお話出来るかなんですけども、少しお付き合いいただけたらと思います。本日はよろしくお願ひいたします。まず、自己紹介から始めたいと思います。私は白河市の出身です。おじいちゃんが小林六郎という「小林運送会社」でライオンズクラブのほうを長年やっておりました。父も小林正知で「こぼうん」のほうの社長をしておりまして、金田さんとは本当に学生の頃からの友人で、私も赤ちゃんの時から金田さんにはとてもお世話になっていたような関係でございます。それがすごく今不思議なことに白河に戻ってきたのが8年ぐらい前になるんですけども、今「BLOOMING CAFE」というカフェのオーナーと、主人が「しらかわ腎泌尿器内科クリニック」「しらかわ透析・内科クリニック」二つ運営しておりまして、わたくしはこの経理と、去年から今大住さんの「ひいらぎ」と私のカフェが入っているパークシティビルの不動産の管理のほうをすることになって、3つの仕事を掛け持ちしながら2人の子供も育てております。白河市生まれだったんですけども、5年生の時に教育のために関東のほうに引っ越しまして、そこから中学受験をして一貫校に入って、高校

年生の時に北米に留学しました。合計で7年程北米におりまして、カナダで大学を卒業してから日本に帰国しました。いろいろありまして、主人と結婚をして山形のほうに住んでたこともあるんですけど、「佐藤循環器内科クリニック」を承継することになりまして、白河に戻って来たのが8年前になります。なので、本当に10年前には想像もしていなかったようなことが今起きております。クリニックのほうの人事関係もやっておりますので、いろいろ女性の面接等をしてるんですけども、今回お話の題名で「女性の短時間労働が地域と家庭を救う」なんて、ちょっと大それた題名を付けてしまったんですけども。やはり、今昨今のなかなか人が集まらない、定着しない、お給料も上げていかないとというところで、皆さんどの企業も苦勞されてらっしゃるのかなと思うんですけども、私も仕事をしていく中でどうやって女性の力を上手く活用していくことが、これからの地域経済にすごく必要だと思ってまして、それにはやっぱり企業側のこの時間に働いてほしい人を探すというよりも、やっぱりその時間しか働けない方々を上手く組み合わせながら雇用していくことが大切だと思ってまして。その私の事例だったり、思う事をお話できればと思っております。まず、女性が笑顔になれる仕事の在り方というふうになりました。私は家庭の母親が笑顔でいることが、家庭円満の秘訣だと思っています。お母さんがやっぱりお家で笑顔でいるだけで、子供達も幸せですし、御主人もにこにこ笑っていて「おかえりなさい。」と言ってくれる奥様がお家にいることで、きっと子供も良く育ちますし、父親もストレスがなく仕事にもっと専念できますし、それは会社のパフォーマンスにも繋がっていきます。子供の成長を見てあげられることで成績も良くなりますし、そういう子供たちが地域に増えるようになることによって、良い地域になって行くと思うんです。逆にやっぱり母親がいつもストレスばかりで不満げな顔をしていて、経済的にも苦しんでいて、子供を家に置きっぱなしで勉強も宿題も見えてあげられない。疲れていてご飯を作る時間もない、そのような家庭ではやはりご主人も凄くストレスになりますし、会社でやっぱりパフォーマンスを発揮しきれない、もう負のループになってしまうので、女性が笑顔でいるような家庭を作る。そのためには、私は女性は専業主婦でいるよりもある程度働いたほうが良いと思っています。女性の仕事もフルタイムで働くほうが合う職種の方ももちろんいらっしゃいまして、うちでいうと看護師さんなんですけれども、地方で見るとそういった職業の方よりは、そういった専門の方よりはパートタイムで働くほうが合うような職種が地方には多いんじゃないかと思っています。私が上の娘が幼稚園に行った頃、私は家で経理の手伝いをするくらいで、毎日会社に何時間も行って事務の仕事してるわけではなかったんですけども、その時に出会ったママ友と仲良くなって、結婚する前どんな仕事していたのと聞くと、調理だったりサービス業にしても長年きちんとした会社で働いてらっしゃったりして、すごく良い経歴をお持ちなのに、やはり子供がいながら数時間だけ働けるという所が白河にはないから働いていない。そういった方が本当に多くいらっしゃって、私はすごくもったいないな

と思いました。でも、仕事を探そうと思っても、子供が病気の時にすぐ休めるか、行事の時に休みが取れるか、1日4~5時間だけ働きたい。そういった仕事はやはりなかなかなかったんです。それなら、私が作ろうかということでカフェを始めたというのがあります。私も経理の仕事は夜やってたんですけども、日中まだ動けるなど自分で思ってしまって、調理も好きだし母も調理にずっと携わっていたんですけども、フルでどこかに働きに行くほどではない。知り合いの方もそういったサービス業だったり調理に長く携わっていた人がいて、日中の子供が学校に行ってる間だけしか働けないんですけどいいですか。いや、その時間だけ一生懸命働けるお店を作ろうよということで、今、大体9時くらいに出勤して5時にみんな帰れるようにしています。もっと子供が小さいお子さんは9時から来て1時にあがるとか、そういった形でもよいような感じになっています。女性にとってのライフワークバランス、それが家庭の状況によって女性が働ける時間というのがどんどん変わってってしまうんですね。幼稚園のお子さんがいる方だと、大体9時にお子さんを幼稚園に送って行って、もう1時に帰ってきてしまうこともあるので、9時半から12時半まで働きたい。ちょっと小学校に入ると、8時半には出勤できます。でも、2時には帰りたいです。だんだん時間も長くはなっていくんですけども、行事が増えたり、やっぱり突然の病気になったりして急に朝電話がかかってきて休まなければいけない。そういう事も多くて、通常の企業さんですとやっぱり困ることにはなります。カフェのほうでも今そういう方がいて、今日も昨日の夜一人の方から息子が熱を出したので明日は休ませてくださいということで一人今日お休みで、私も抜けたので今日2人今減で営業してるんですけども。そんな時でもお互い様だよ、できることをやっていこう。今日だったら、例えばお皿洗いはもう溜めちゃっていいから、私戻ってきた後、みんな一斉にやるから出来ることだけでやっていこう。そういう形で、お互い様で回せる、何かあっても回していくことがもう大前提の職場なんです。でも、どうしてそこまで無理して仕事を女性がする必要があるのかというと、家にいるだけだと本当に楽かと思われるかもしれない、専業主婦は楽かと思われるかもしれないんですけども、私からすると家にいて何で掃除終わってなかったの、どうして子供点数こんなに悪いの、すべてが自分のせいになってしまって、逆にいうと子供の成績が上がったら自分の地位も上がるような感じもしたりして、自分というものがなくなってしまって、自分はもう誰誰ちゃんのお母さん。誰誰君のお母さんでしかなくて、自分自身が好きだった事とか、やりたかった事というのがもう全部置き去りにされたままに家庭と子供にすべてを尽くさなきゃいけないようなのが、私の意見ですけどもそれが専業主婦になってしまって、それが辛いと思う女性がすごく多いです。私の周りだとすごく多くて。それが仕事に行くことによって、仕事という口実を与えてあげることによって、そこまで完璧じゃなくてもちょっと許してねというような言い訳にもなったり、職場に行って同じような境遇の女性と悩みを共有することによって、あっ皆もそうなんだな、私だけじゃないんだな

て安心したり、女性なのでお喋りする事でストレス発散して、そんなにたいしたことじゃないなって思えたりして、また家に帰った時にお子さんやご主人に対して笑顔になれる。そして、少しなりでもお金を稼ぐことによって、自分の好きな物を買ったり好きな本を買ったり、そういった事に使えたりする余裕ができる。そういった面で、私はやっぱり短時間でも無理をしてでも女性は働いていくべきかなと思っています。なので、本当に今日お願いしたい事の一つが、その外でちょっと働きに行き帰って来た時に、奥さんが朝悩んでたことが多分吹っ切れて帰ってくることも多いと思うんです。お喋りしたり、何か家庭じゃないことを頑張ってる帰ってきてリフレッシュする、そういった意味で女性の働き方がすごく、短時間の働き方が大事なんだということを男性の皆さんにもわかっていただけたらいいなと思います。女性がそれで働ける時間というのが幼稚園の頃は少なく、それが中学生、高校生になるとだんだん伸びてきたり、また習い事だったり大学の学費もかかるからもうちょっと長く働いたり時給のいい所に勤めたい。そんな感じで、もうちょっと働けますかとか、伸ばせますか。企業側からすると我儘だなと思う事もあるかもしれないんですけど、それは理解していただけたらなというふうに思います。そういった我儘とも思えるその女性の希望を一人一人に対応していくのは会社としてはすごく難しい事だというのも私も理解しています。この人にはいいと言ったのに、じゃあこの人はどうする、じゃあその公平性をどうやって保っていくんだというのも、すごく難しい事だとは思っているんですけど、やはりそういった眠っている女性の力を上手くそれぞれの会社さんに合うような形に調整して生かしていくことが、やはり長期的に見た会社の成長だったり、御主人のパフォーマンスまでにも繋がっていくことだと思うので、何とかこのパートの人は9時から4時だよとか、8時から5時半まで働かないとうちでは雇えませんよと、そういう四角四角ではなくて何かちょっとそれぞれの企業によって考えていただけたらなと思っています。うちのカフェは今、週3回の営業でして、こちらパンフレットを今回配らせていただいたんですけども、ちょっと緑が多いようなカフェになっておりまして、カフェというよりはレストランですね。カフェの営業時間よりランチタイムでほぼ収益が整っているようなお店になっています。いろいろ試して今、週3日。しかもランチだけの営業ということになってまして、夜はやらない、週末もやらない、夏休み春休み冬休みゴールデンウィークお正月も全部お休みです。8月はもうほぼ3週間お休みしたんですけども、今働いている社員、スタッフ、アルバイトの方5名いるんですけども、みんな休みでありがたい。働かないほうがいい。もしくは、大体実家が白河じゃなかったりして、長期でご実家に帰りたいので長期の休みがあったほうが良かったり、おじいちゃんおばあちゃんに預けられないので、夏休みに子供たちを預けて働くことができないから、むしろ休みでありがたいというような今スタッフがうちのお店で働いてくれています。なので、お店としてはじゃあどうやって収益を上げていくのかというと、はっきり言って儲からないです。儲からない

ですけども、何でやってるかといううちのクリニックの看護師さんがおりまして、看護師さんはやっぱりそういうわけにもいかないの、月曜日から土曜日まで働いていて、6時半まで働いてくれてるんですけども、お子さん小さい方もいらっしゃる、夜ご飯作るのが大変な時もあるので、カフェでテイクアウトしてお弁当だったりお惣菜を半額負担にはなるんですけども、買いやすいお値段で買っていつでももらってます。そういった面で、ご飯全部作らなくてもうちの店で買ってたり、子供達のおやつにしてもいいし、そういった面でサポートできる部門としても私がカフェをやっているような状態です。あとは、お店としてはテイクアウトに力を入れてまして、店内でお喋りしながら2時間3時間いらっしゃるお客様いるんですけども、そうすると回転しないので、やはりテイクアウトでお弁当を企業様でまとめて買っていたり注文いただくと、すごく仕込みも効率的にできてロスが少ないので、そういった形で何とか回るようなお店です。働ける人に合わせた営業時間でギリギリできるお店作りを今やっています。飲食店なのに何で週末やらないんだとか、やっぱり周りからは言われますけども、そこは今の多様な働き方というので大きく理解してくださいとは言えなくて、いろいろな考え方があると思うんですけども、それでも来てくれるお母さんたちはひと時子供や家庭から離れて一生懸命仕事を自分が好きだったサービスや調理の仕事を生懸命やって、美味しいものを作って美味しいと言ってもらえたことで嬉しくなって、それでお家に帰って今度は子供達と本当に笑顔で接することができて、本当に良い環境で私自身もそのお母さんたちと話してストレス解消になったり、いろいろな子育てのヒントを貰ったり、お互いに助け合える職場になっていて、そういった職場が他の所でもどんどん増えていくといいな、本当にそんなふうに思っています。他にもうちのスタッフに言っているのは、趣味を持ってくださいっていうのもすごく言ってまして、やはり先程お話したように子供の教育だったり家庭を守ることは女性としてすごく大事ですし、力を入れていくことになると思うんですけども、やっぱりその子供が大きくなった時にじゃあ何をすればいいのとなる女性はすごく沢山いて、仕事なり趣味なりそこに一生懸命そこに自分で費やせる熱意と気持ち、時間を無理してでも作っていくことが、他の家庭だったり仕事だったり良い循環になっていくと心から思っています。一つうちの社員からも今日伝えてもらいたいということで、短時間で働く女性からの切実なお願いなんですけれども、短時間で働いてるからといって子供に何かあった時に休むのは無条件でお前だろうっていうような、この周りからのプレッシャーがとても辛い。自分も短時間で働いているけれども、責任感を持って仕事をしているのでたまにでもいいんだけど、そこをお父さんが2~3時間休みを取って病院に連れてってくれたり、帰りの子供が家に帰ってくる時間だけちょっといてくれて、交代してくれたらどんなにありがたい事かという意見が本当に多くありまして、それがやはり会社で突然数時間抜けるとか半休を取るということがだんだん許される、それもお互い様と思えるような会社が出来てくるといいな、そういう文化が

生まれてくるといいなというのは心からの女性が願っていることであります。でも、男性もそうやって積極的に育児だったり家庭の事に参加していくというような価値観は、私が新卒で入った時よりもここ10年20年で本当にガラッと変わりまして、今小学校に行っても授業参観に来るお父さん、遠足の付き添いに来るお父さん本当に多くなっていて、お母さんが仕事休んでお父さんがリュック担いで子供と手繋いで遠足に行く、そういった父親の方がすごく増えているなどというのを見ると、そういう企業文化も育ててくるんじゃないかなと思うんですけども。やはり、まだまだ、えっお父さんがって思うところもありますので、そういった事がだんだん普通になってくると、女性も更に働きやすく、企業にも更に貢献でき、父親のほうとしても奥さんにありがとうと言われて子供も喜ぶ顔を見ると、もっと仕事頑張ろうという気持ちになれるんじゃないかなと思っています。本当に女性は、結婚、子育て、出産で、私も10年前と今が全然想像してなかったような状態にあるんですけども、女性はやはりそういうふうにごく生活が大きく変わってしましまして、そこで仕事を見つけるのが難しいからといって10年15年間ブランクが空いてしまうと、さて子供が手を離れた時に老後の心配があるから仕事をもう一度探そうと思っても、まず職を探すのがとても難しいことになってしまいますし、女性本人もブランク15年あって何が出来るんだろう、そういうふうにごく自信を無くしてしまうと思うんですね。なので、その途中を短時間で繋げていってあげることが、その後フルタイムに復帰したいと思った時にまた会社に貢献してくれる人材を繋げて育てていくためにも、短時間の時間働ける枠がある程度残しておいてあげることが、今後の企業の発展に繋がっていくと強く思っています。一つちょっと私が懸念しているのが、周りのお母さんでのごくタイミーを見てる方がいっぱいいて、タイミーご存じではない方いらっしゃいますかね。短時間でサクッと仕事をしようというのがアプリで探せる仕事のサイトなんですけども、面接を受けることなくそこでスポットで、来週の火曜日の例えば10時から12時の間に2時間だけ働きたいといった時に検索すると、いきなりその日に行ってお仕事をして現金で貰えるような仕事がばっと検索できるサイトで、すごくお手軽なので隙間時間ができた時にそういう所で働いて、少しなりにでもお金を得たいという。でも、それは会社としてもその繁忙期にそこだけスポットで仕分けしてくれる人が必要だとか電話番が必要だとか、そういう事もあるので一概に駄目とは思ってないんですけども、そういった責任感をあまり伴わずに簡単に仕事をして、お金を貰う事だけにやっぱり重要と考える人が増えてくことはちょっと怖いなって自分では思っております。やはり、何かその専門職に就いてない女性の方って自信がない方も多いです。私なんて何もできないですとか、何もやってこなかったのだからやれるかわかりません。そんな方が多いんですけども、まずやっぱり好きな仕事に出会えてない方も多いですし、やりたい事が見つからない、出産、子育てに入ってしまったって考える時間もないままに時間が過ぎてしまった方も多いです。そういう方があまり考えずに短時間の単純労働でお金を得るだけの

ちょっと関係性がき薄な、そういった社会ってちょっと怖いなって思っているの。そうではなくて短時間でも責任感を持って楽しめる、充実感を感じられるような職場をいろいろな企業が提供してあげることによって、もしかして辞めてしまうかもしれないけど、そこで変えていくことによってその女性が本当にやって良かった、これは嬉しい、楽しい、そういったものに会える幸福感、充実感を感じられる仕事に出会うきっかけに、その短時間労働はなっていたらいいなと思っています。なので、その子育て中のお母さんたちがもしかして辞めてしまうかもしれないけれども、それが何かに繋がっていくし、新しい方の何か今まで出会っていなかった資質の発見になるかもしれないし、大きく考えると企業や地域の発展に繋がっていくことだと思っているので、是非皆さんの会社でも決まった時間に働く人だけを優先するのではなくて、少しの時間でも働ける方を上手く調整しながら雇っていけるシステムをより整えていただけたらなと思っています。私も本当にいつまでこのカフェと経理と不動産管理の会社と3つ出来るのかなと。それで、私が本当にうまく出来るもの、何が向いているのかちょっとわからないんですけども、今自分が出来ることを一生懸命やって好きな事、私バレエが大好きで今、週3回仕事の後にバレエに行って、踊るほうのバレエです。子供と一緒にやってるんですけども、本当にいろいろやりたい事がいっぱい、今後どうなるかわからないんですけども、そういった同じように悩む女性たちと一緒に模索しながら、家庭の円満と母親の笑顔を目標に仕事をしていきたいと思っています。取り留めのない話になってしまいましたが、男性の皆様も是非そういった女性の事情をご理解いただきながら、女性の力の活用に今後ともご協力、ご理解いただけたらと思います。



阿部克弘会長

今日は本当に貴重なお話をいただきまして有難うございます。私の前職は生命保険会社の営業所の所長をしていました。また現在も化粧品をメインに女性と接する仕事をしているので関わりあいが大変強いです。そんなところから女性の偉大さ・素晴らしさは誰よりも承知しているつもりです。

白岩さんのお話を聞いて大変共鳴しました。また考え方はとても参考になったので頑張ってお進んでいってほしいなとつくづく思いました。本日は本当に有難うございました。